

独創的な技術と開発力が武器

高速自動検査装置のプロフェッショナル。



1 正しくラベルが貼付されているか瞬時に判別する装置。人の目では見逃してしまう箇所も判別できる 2 装置内のメンテナンスも自分たちの手でやる 3 創業は放送局用カメラの開発からスタートし、その後色彩選別機なども開発

製造現場を支える検査技術。

高嶋技研は飲食品などの生産工場で使用する高速自動検査装置を製造しています。例えば、ペットボトルのキャップや瓶に貼られたシールなどがメーカーの規定に沿っているか、不良品がないかを出荷前に検査する装置を作っています。必要な検査項目や基準をヒアリングした後、自社で開発・設計・製造して顧客先に設置し、稼働後のメンテナンスまで一貫して行っています。可視光線、X線などを使用したセンシングと画像処理の技術開発を重ね、現場で役立つように改良してきました。近年は医薬品、リサイクル、鉄鋼業からの相談も増え、技術を生かせる分野が広がっています。

働きやすい環境で、意欲的なものづくりを。

装置開発にあたって担当者は外観や形状、材質といったハード面の選定と設計、内部では画像処理のプログラミングやシーケンス制御などソフト面を考えます。先輩後輩が分け隔てなくチームとして携わり、全員が知恵と技術を出し合って「挑戦する心」を持ち、「世の中にないもの」を創り上げています。「技術をもって社会の発展に貢献する」「人材こそが最大かつ唯一の財産である」という理念のもと、IHIグループの一員として誇りを持ち、意欲的に取り組んでいます。



高嶋技研 のすごいところ

Q 会社の自慢を教えてください!

A 当社の自慢は、最高で1分間に2,000本の製品を、良品と不良品に高速自動判別できる技術を有していること。これまでも、密封した容器内の不良を見つける装置など多種多様な装置を開発し、省人化・自動化に貢献してきました。お客様のご要望をヒアリングし、装置の仕様をカスタマイズできるところも自社開発の強みです。



Q この先、目指していることは?

A AIやIoTを活用した高速自動検査装置の開発を進め、お客様の安心・安全にお役に立つことが目標です。また、新しい検査方式や搬送方式を開発し、検査装置のさらなる性能向上も目指します。今後も社会に貢献する企業として、独創的な発想力と開発力を武器に、信頼性の高い製品を提案していきます。



みました。
聞いて
気になること、



技術部長 船谷 佳邦さん

Q 仕事にはどんな人を求めていますか?

A 明るく楽しく元気な人、失敗してもめげず諦めない人。想像したことを実現させ、自分たちが作った製品が社会に役立っていることを誇りに思える人。ぜひ一緒に未来を創造しましょう!

Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 就職活動は大変だと思います。しかし、ご苦労されたこと、経験されたことは無駄にはなりません。自信を持って就職活動してください。苦労を経験した人は強いです!

こんな職場です

チームワーク第一、食と会話で交流。



上下関係がなく、気軽に話せる職場です。新入社員には先輩社員が1年間つき、仕事を教えます。また全国各地に出張する機会があり、ご当地グルメを楽しむこともできます。



高嶋技研 株式会社

〒919-0614 あわら市伊井15-1
TEL.0776-74-0880 FAX.0776-89-0888
https://www.takashima-giken.co.jp

設立:1964年/代表:代表取締役社長 庄野 統夫/資本金:4,500万円/従業員数:44人/平均年齢:40歳/勤務地:同上/勤務時間 8:30~17:30/福利厚生:各種社会保険完備、退職金制度、独身寮制度、資格奨励金支給制度、教育資金融資制度、同好会等

UI/UX採用企業

インターン受け入れ企業

公式WEBサイト

